

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年4月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。
大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(1月)
乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、公共工事請負金額は前年を下回った。(2月)
- **産業面**・・・鉱工業生産は、持ち直し基調にあるものの、足踏状態がみられる。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上回り、原指数も前年を上回った。(1月)
- **雇用面**・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。
きまって支給する給与は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(1月)
求人倍率は、新規が前月を下回ったが有効は上回り、新規求人数も前年を上回った。(2月)

○需要面の動き

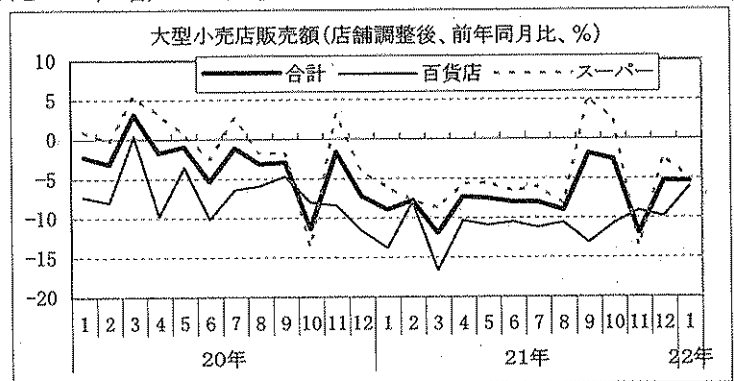
大型小売店販売額(1月)

全店舗の販売額は、60億8,200万円(前年同月比4.8%増)と2か月続いて前年を上回り、店舗調整後では22か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	608,200	4.8	(▲5.4)
百貨店	186,800	▲6.1	(▲6.1)
スーパー	421,400	10.5	(▲5.0)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(1月)

32億3,600万円(前年同月比9.8%増)と5か月続けて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(2月)

1,998台(前年同月比15.4%増)と9か月続いて前年を上回った。普通車、小型車の区分は9か月続いて前年を上回ったが、軽自動車は3か月ぶりに前年を下回った。

新設住宅着工戸数(2月)

131戸(前年同月比8.3%増)と3か月ぶりに前年を上回った。持家系(前年同月比13.0%増)は前年を上回り、貸家系(前年同月と同水準)は前年と同じであった。

用途別着工建築物工事金額(2月)

21億4,800万円(前年同月比771.9%増)と8か月ぶりに前年を上回った。用途別では、医療・福祉(前年同月比381.0%増)等で前年を上回り、製造業(前年同月比20.0%減)等で前年を下回った。

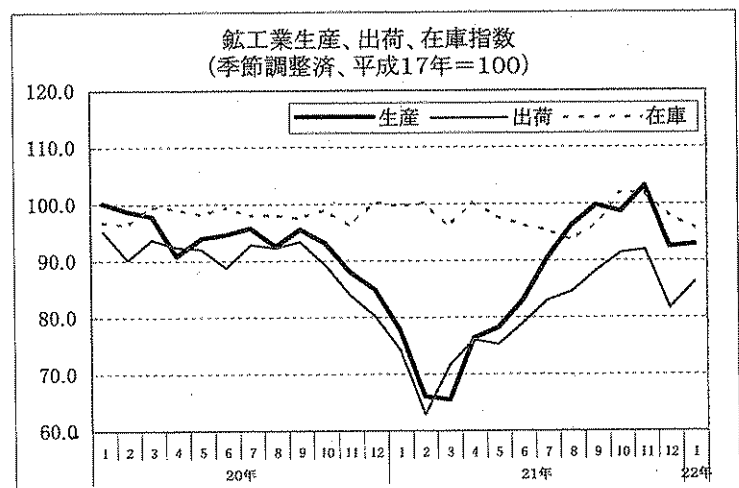
公共工事請負金額(2月)

64億5,900万円(前年同月比22.7%減)と7か月ぶりに前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比54.2%減)、独立行政法人等(前年同月比59.3%減)、県(前年同月比17.4%減)で前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(1月)

生産指数(季節調整済)は92.9(前月比0.4%上昇)と2か月ぶりに上昇となり、原指数は79.7(前年同月比16.7%上昇)と6か月続いて上昇となった。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが11.8%上昇となり2か月ぶりの上昇、電子部品・デバイスが0.5%上昇となり2か月ぶりの上昇、電気機械が12.1%上昇となり2か月ぶりの上昇、一般機械が0.8%上昇となり4か月ぶりの上昇となった。
在庫指数(季節調整済)は95.7と前月比2.2%低下した。



大口需要電力実績(1月)

125,381千kwh(前年同月比18.2%増)と2か月続いて前年を上回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分のうち、パルプ・紙(前年同月比37.2%増)が4か月続いて、鉄鋼(前年同月比32.8%増)、機械(前年同月比7.6%増)が2か月続いて、その他の製造(前年同月比3.2%増)が2か月ぶりに前年を上回った。

青果物卸売量(2月、鳥取市場)

野菜が1,230t(前年同月比8.1%減)と2か月続いて前年を下回り、果実は685t(前年同月比13.0%減)と6か月続いて前年を下回った。

漁獲量(2月、境港)

7,836t(前年同月比5.8%増)と3か月ぶりに前年を上回った。

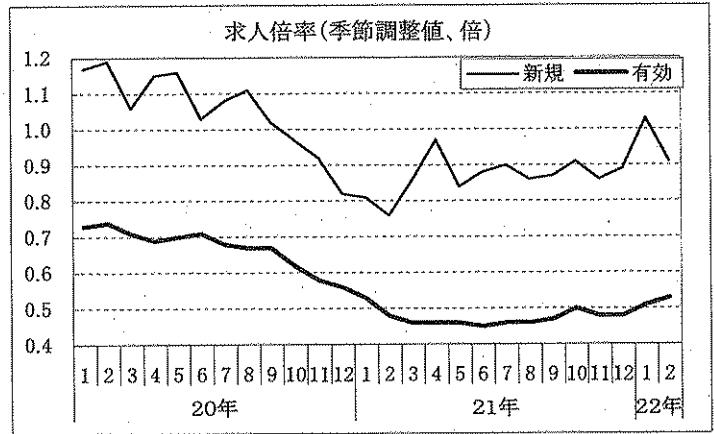
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(2月)

0.91倍(前月差0.12ポイント低下、前年同月差0.15ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,491人(前年同月比8.4%増)と2か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(2月)

0.53倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.05ポイント上昇)となっており、2か月連続で0.5倍台となっている。



現金給与総額(1月)

240,923円(前年同月比2.5%減)と13か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、238,788円(前年同月比0.9%減)で20か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(1月)

7.7時間(前年同月比11.6%増)と2か月続いて前年を上回った。主力の製造業は49.2%増となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比132.1%増)等で前年を上回り、建設業(前年同月比38.9%減)等で前年を下回った。

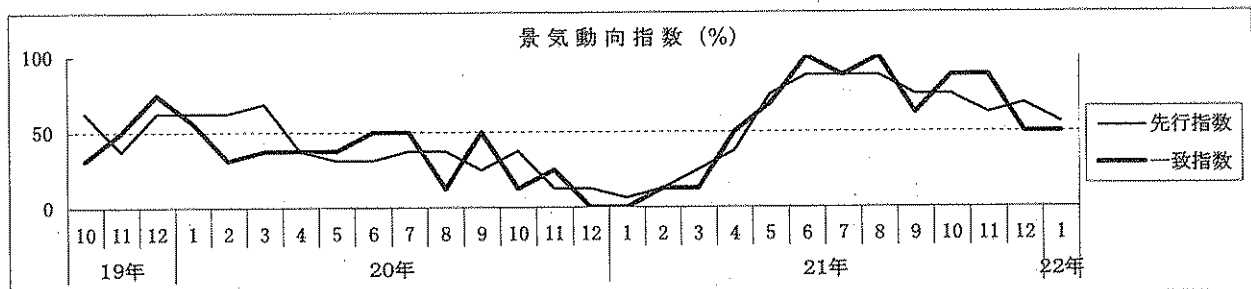
預金・貸出金残高(1月末)

預金残高は、1兆9,403億円(前年同月比3.6%増)と13か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,323億円(前年同月比1.1%増)と9か月続いて前年を上回った。

○参考

鳥取県景気動向指数(1月)

先行指数56.3%、一致指数50.0%、遅行指数80.0%となった。
先行指数は9か月続いて50%以上となった。
一致指数は10か月続いて50%以上となった。
遅行指数は4か月続いて50%以上となった。



企業倒産(2月)

件数は5件(前年同月比44.4%減)で前年を下回り、負債総額は14億9,000万円(前年同月比6.3%増)で前年を上回った。

消費者物価指数(2月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.7となり、前月比(▲0.4%)、前年同月比(▲1.5%)ともに低下した。

鳥取県の推計人口(3月1日現在)

590,130人で、前月と比べて300人(0.05%)減少し、前年同月と比べて3,572人(0.60%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年2月調査)

平成22年1~3月期は、平成21年10~12月期に比べると、景気がきわめて不調で、売上高及び経常利益が不調となっている。

平成22年4~6月期は、平成22年1~3月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となる見通しとなっている。